

令和4年度 彦根市まち・ひと・しごと創生本部 第2回会議 会議概要

1 日 時 令和4年(2022年)8月23日(火)

2 場 所 オンライン

3 出席者 彦根市まち・ひと・しごと創生本部員(市長・副市長・部長級職員(代理出席あり))

4 内 容

(1) 議 題 彦根市総合政策推進体制について

(2) 要 旨

- 令和5年度以降の本市の総合的な政策(総合計画・まち・ひと・しごと創生総合戦略・SDGs)に関する進捗管理体制について、協議を行った。
- 事務局(企画課)から以下のとおり説明を行った。
 - 総合計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略、SDGsの進捗管理を一体的かつ効率的に実施し、PDCAサイクルを回し、本市の総合的な政策推進を図るため、令和5年度から新たに「総合政策推進体制」を立ち上げる。
 - 新たな体制では各種の施策・事務事業評価は、総合計画の施策評価に統合し、一本化する(事務事業評価は廃止し、まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価は施策評価と統合する)。
 - 総合計画前期基本計画を抜粋・整理することで「彦根市版SDGs」を作成し、「総合計画の推進=SDGsの推進」となることを明確にした上で、総合計画の進捗管理を行うことで、SDGsの進捗管理も同時に行う。
 - スキームについて、基本になるのは現在のまち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理体制であり、庁内で各部会に分かれて内部評価を実施し、その後、外部委員による協議会において外部評価を実施するという流れを踏襲する。
 - 部会は総合計画の5本柱ごとに分かれる(基本は総合計画の策定時と同じ)。
 - 内部評価はすべての施策で実施し、そのうち10施策程度を選定して外部評価を実施する。なお、外部評価する施策の選定は、各施策のKPIの達成率等を考慮した上で、外部委員による協議会において実施する。
 - 令和4年10~11月にまち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会を開催し、本案に対して外部委員からの意見を聴取し、それを受けてさらに修正し確定させる。
- 本議題について、特に異議はなく、原案どおり進めることが承認された。